

令和 1 年度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日 から 令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人いのちにやさしいまちづくりぽぽねっと

☆ぽぽね聞き書きの会

■企画全体評価

- ・昨年より参加者が増え、参加人数が安定してきた。特に県内・県外からの熱心な参加者が多く見られる。長年継続してきた成果が出ていると思う。
- ・カフェでは、年齢、性別、職業が多様な参加者が、自らの体験を語り合うことで自己啓発につながっている。又、お互いに刺激しあうことで聞き書きの魅力について深く意見交換することもできている。

■反省点

- ・聞き書き本として完成させる人が少なく、作品数の増加につながらない。

■その他特記事項

- ・2月1日に長年小松市の観光ボランティアも務め、小松市の歴史文化、特に織物業について造詣が深い関戸昌郎さんを語り手としてお迎えした。関戸さんの素晴らしいお話に参加者一同感心すると共に、参加者からの質問もたくさんあがり、充実した時間となった。
又、関戸さん自身も自分なりに話すことが整理でき、たっぷり話せた事に満足されていた。語り手として参加して頂いたが、聞き書きの魅力に感動されていたことがとても印象深かった。
- ・新規の参加者に協力会員になって頂く事ができた。
- ・小松中央ライオンズクラブに講師として招かれ、聞き書きのお話をする事ができた。

☆障がい者の居場所づくり

■企画全体評価

- ・「バリアフリーマップ+」の改訂版発行の打診を受けて、前回と同じく小松市、小松市自立支援協議会、公立小松大学の木村誠助教授との打合せをした。
「バリアフリーハンドブック」発行を決定し、調査を開始した。小松市の助成金申請の為、必要書類（要望書、事業計画書）を提出した。
- ・障がい者に関わるイベントに参加、交流した。
9/22 石川県障がい者ふれあいフェスティバル、
4/13、5/25、6/22、7/13、9/28、10/26、11/30、12/14、2/8 こぐまの会
6/30 虹を呼ぶコンサート
10/26 ちょっと出てみよっさコンサート

■反省点

- ・「バリアフリーマップ」関係の会議のスタートが遅れ、次年度の発行となってしまった。
- ・小松市や関係団体の行事には参加出来たが、イベントや勉強会への部会員の参加調整が難しく、参加出来なかったものもある。

■その他特記事項

- ・令和1年期限内において、当部会は「あたらしい居場所づくり部会」と統合することとなった。従って当部会は令和1年度事業報告のみとなり、次年度計画は「あたらしい居場所づくり部会」に含むものとする

☆子育て中の親子の育児支援 <そらまめ教室>

■企画全体評価

- ・ほぼ計画どおり事故なく実施できた。
- ・参加者の減少が心配されたが、すこやかセンターとの連携で新規の方が参加されるようになり、実数としては昨年と同数となった。
- ・平成26、27年度頃より第1子子育て中に参加し、第2子出産後も継続参加されている数名の母達が、自身の体験やそらまめで学んだことを新規の母にアドバイスする様子がよく見られるようになってきた。スタッフは教室を継続できてきたことのやりがいを感じている。
- ・親や夫との関係、子育て後の女性としての生き方など他で話す人がいないので、と相談されることが増えており、これも継続の力と感じている。
- ・NPOで継続して支援していることの良さを感じている。

■反省点

- ・すこやかセンターのそらまめ担当者とは何度か話し合い、問題点の解決策を見出していった。今後も連絡をとり意思疎通を心掛けたい。

■その他特記事項

□産前産後サポート事業（個別相談）

そらまめ教室の午後1時間半から2時間同場所にて実施（予約制）。

年間、2回実施し、スタッフ3名で対応。

□小松市産後ケア（訪問型）

小松市の委託 今年度はなし

☆次世代育成事業

■企画全体評価

- ・小松市主催で認知症ケアコミュニティーマイスター養成研修会を9回開催し、延べ259名参加した。参加者は合計76名（専門職30名、市民46名）、アクションプラン提出者は6名だった。最後にアクションプランを発表する予定だったが、報告会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となった。
- ・今年から参加者要綱を変更し、従来の専門職マイスター（主に医療・介護・福祉・保健に関連した事業所に勤める者）に加え、市民・企業マイスター（地域住民や企業に勤める者）を新たに設け、幅広く参加者を募った。又、1年間で終了するのではなく、通年にわたり参加できるようにポイント方式に変更し、個々に応じて参加しやすいようにした。
- ・職種などに関係なく、様々な意見交換ができて楽しかったと好評だった。
- ・参加人数：①33名、②44名、③36名、④30名、⑤30名、⑥24名、⑦15名、⑧30名、⑨17名

■反省点

- ・1年間での終了ではなく、状況に応じて数年かけてマイスターの資格を取得できるようにした為、参加者の人数は増えたが、講義ごとにポイントカードに印鑑をつく作業などが煩雑になり、受付での混乱が生じた。
- ・マイスターの有志メンバーで当日の役割分担をしているが、メンバーが少ない時の運営がバタバタしてしまった。

■その他特記事項

- ・新型コロナウイルスの影響により、アクションプランの実践報告会はできなかった為、マイスター修了者はいなかった。
- ・アクションプランの企画実施をしていた方が6名（専門職3名、一般3名）は、プレマイスターとして今後参加していただく予定。

☆あたらしい居場所づくり

■企画全体評価

- ・いのちの学校
- ・4/13（土）～14（日）「いま家族とは」
講師：臨床社会学 春日キスヨ先生、家族看護学 渡辺裕子先生
参加人数：（13日）会員6名、一般9名 （14日）会員9名、一般11名
- ・5/28（火）「がんと暮らす人のための心の処方箋」19時～21時
講師：順天堂大学名誉教授 樋野興夫先生
参加人数：会員11名、一般10名

■反省点

- ・チラシの作成・広報を早めに行い、全国から多数の参加を得られた。
「介護のしくみ共生講座」施設見学ツアー 先進地視察については、実施できなかった。

■その他特記事項

- ・今後も「あたらしい居場所づくり部会」は、高齢者も子どもも若者も、病気や障がいを抱えても、自分らしくいきいきと楽しく朗らかに暮らし続ける事ができるコミュニティヘルスのあるまちづくりを目指して、あたらしい居場所づくりや、楽しく学び地域に発信していく活動を行う。
- ・今年度は、重度心身障がい児・者と親の会「レッツびあふれんど」と活動を行うことで、来年度の事業計画を協働し作成することができた。

☆事務局

■事務局活動

1. 令和1年度は10回の部会長会議と事務局会議を開催。
 - ・4月22日 各部会活動報告と令和1年度理事会・通常総会日程打ち合わせ
 - ・5月27日 各部会活動報告と総会の役割分担打合せ
 - ・6月23日 通常総会
 - ・7月24日 各部会活動報告
 - ・9月11日 各部会活動報告
 - ・11月12日 各部会活動報告

- ・12月3日 各部会活動報告
- ・1月20日 各部会活動報告と市政80周年記念講演打合せ
- ・2月27日 各部会活動報告と令和2年度通常総会打合せ
- ・3月27日 各部会活動報告